

発行／公益社団法人 相模原法人会青年部会  
〒252-0236 相模原市中央区富士見6-13-16  
TEL.042-753-3027 FAX.042-753-3273  
URL: http://www.sagamiharajoinkai.or.jp  
発行責任者／林 大介(青年部会長)  
編集責任者／菊地 潤(公益・広報委員長)

## 署長を囲む座談会

H27年 10/20

平成27年10月20日相模原税務署長 高橋博良様と税務署幹部の皆様と、毎年恒例の女性部会、青年部会合同事業の署長を囲む座談会を法人会館で開催いたしました。

本年度からは、源泉部会も加わったの合同事業となり、多くの会員の皆様にご参加いただき賑やかな会となりました。この座談会は、税務署の幹部の皆様とその名の通り署長を囲みながら席を共にし署長の経験に根ざしたお話をお聞きし、懇親を深められる数少ない機会となっております、毎年参加

している私にとっては、法人会での楽しみの一つの事業になっています。

この日は、高橋署長から「国際的な取引の対応について」と題した講演を頂き、税を司る税務署の活動のみならず国税活動の範囲の広さ等を知ることができました。講演の後には、出席者全員での交流会があり、楽しいひと時と税のオピニオンリーダーとしての我々法人会会員の活動について意見

を交換し、実のある時間とすることができました。

租税教育員会 委員長 伊藤由樹



## 税務研修会(ピータードラッカーセミナー)

H27年 7/15



講師に、ピータードラッカーのセミナーファシリテーターとして多くの実績を持ち、

中小企業診断士としても企業の強み診断など経験豊富で、問題の本質を捉える事に秀でている清水祥行氏をお招きし、ワークを交えてピータードラッカーの考え方にに基づき、ご講演頂きました。テーマは、新人経営者の陥りがちな利益に対する5つの誤解、「利益は汚いモノ・利益は企業の目的・利益は実体のある余剰・必要な利益は目標利益より低い・利益は

コストの流れと関係がある」とした。誤解について解説を加え、そして自社にどう置き換えるべきかを、企業が利益を出す本質を捉えながら、節税対策の無駄を含めてご講演頂いた。参加者は目からうろこが落ちた。「社員の流れと関係があるとする、企業が利益を出す本質を捉えながら、社員に対する利益がしっかりと説明できるようになった」と好評をいただいた。法人会会員以外の参加者も目立った事業であった。

経営研修委員会 委員長 小池重憲

## 経営研修会(覚醒セミナー)

H27年 9/28・29

様々な業界のマーケティング手法について学ぶことで、法人会青年部会のビジネスに刺激を与え、より創造性に富んだビジネス展開が期待できる。改めて、ビジネスを考え直し、今あるものを棚卸し、新しい顧客の創造に貢献する事を目的として、覚醒するマーケティングセミナーを開催しました。特に接客業の様々な顧客を呼び込む仕組み、リピートしてもらう仕組み、口コミを広げてもらう仕組み、そして自社の強みともいえ

るUSP (Unique Sales Proposition)を各自考え、そして学ぶだけでなく参加者同



士が意見交換や悩みの共有をする事で、さらに学を深め明日から実践できるヒントを多く得た。また、この事業参加者だけで、後日集まり、その後の進捗状況をシェアしたりできたことは、予期せぬ成功であった。

経営研修委員会 委員長 小池重憲

## 青年部会交流会事業 ~勝沼ワイナリー工場見学・ほったらかし温泉

H27年 6/17

平成27年6月17日青年部会交流事業を実施致しました。

移動はバスで、それぞれ部員の最寄り箇所5カ所から乗車し出発しました。バスの移動中はさっそく懇親の場です。まだ入会して間もなく、慣れない私にとっては気さくに打ち解けられるようなこのような場はありがたいものです。

現地ではワイン工場のガイドによる案内と説明を受け、製造から製品化される過程を見学し、店頭ではワインの試飲販売も堪能しました。隣接するBBQ会場で食事をし、そこからまた移動して「ほったらかし温



泉」に皆で入浴しました。美味しいワインと食事、そして温泉と、まさしく心身共にほぐ

れる楽しいイベントでした。

租税教育委員会 委員 津澤隆弘

## 第22回 チャリティゴルフ大会

H27年 10/26

秋の恒例事業の一つ、相模原商工会議所との共催にて「第22回チャリティゴルフ大会」を相模原ゴルフクラブにおいて開



稲場会長と優勝者

催致しました。

本年は、相模原法人会主幹での開催で、準備設営から片付けに至るまで法人会青年部が主体となり、参加される皆様に失礼がないよう心がけ、不慣れながらも精一杯運営させて頂きました。

当日は晴天に恵まれ、ゴルフができない私でも思わずプレーがしたくなるような、まさにゴルフ日和。プレーをされた皆様も気持ちよく一日を過ごせたのではないのでしょうか。今大会は、両会合せての186名・49組の参加を頂き、事故やケガの報告もなく無事に終了する事ができました。

何より、スムーズな運営が行えたのは、朝早くからの準備設営から運営まで、商工会議所青年部をはじめとする関係各位皆様の多大なる御協力のお陰です。そして、ご協賛を快くお引受け頂きました企業の皆様のおかげで沢山の賞品が揃い華やかな表彰式が行えました。この場をお借りしまして御礼申し上げます。

最後に当青年部部員の方々に沢山のアドバイスを頂きながら青年部会が一つになって無事に大会を終える事ができました。本当にありがとうございました。

公益・広報委員会 委員長 菊地 潤

## 県連青年部会情報交換会

H27年 10/26

平成27年10月26日、今年度から開催されることとなった第1回神奈川県青年部会連絡協議会の「情報交換会」が18単位会から173名の参加者が集結しホテル横浜ガーデンにて開催されました。

まず、全法連青年部会連絡協議会 森永善之顧問の講演会では、青年部会への想いや必要性を説いていただきました。次に租税教育・会員増強・法人会の未来についての3テーマについて約1時間テーブルディスカッションをおこないました。活発な意見交換が各テーブルでおこなわれ時間が足りないくらいの盛り上がりを見せました。講評では、全法連青年部会連絡協議

会 醍醐正明会長からお話をいただき、今回の事業は全国でも1、2位を争う活発な事業だと神奈川県連の力強さに期待されていました。

今回の事業で、各単位会で共通の悩みも多々あることやその地域特有の事業活動など、多くの情報を共有できた事、また懇親会でも普段交流することのない部会員同士の交流もできた事はとても有意義だと感じました。このような場に多くの部会員が参加することで法人会青年部会活動が活発になると

感じましたので、今後このような機会がある時には、皆様も積極的に参加してください。 部会長 林大介



## 相模湖ふれあい祭り・津久井やまびこまつり・津久井湖上祭の様子 H27年10・11月

私たち地域社会研修委員会は、緑区のメンバーで構成されています。緑区をもっと知ってもらおうとの方針の下、緑区のお祭りである相模湖ふれあい広場・津久井

ふるさと祭りに参加致しました。

今年で4回目となる旧津久井郡の青年で発足した、津久井湖上祭に参加して、税金クイズを実施して正解に応じて、粗品や

伝統工芸品の津久井組みひもを体験してもらい啓発活動を致しました。

地域社会研修委員会  
 委員長 尾崎 勲



相模湖ふれあい祭りの様子 10/18



津久井やまびこまつりの様子 10/25



津久井湖上祭の様子 11/22

## 法人会全国青年の集い 茨城大会 H27年 11/19・20

平成27年11月19・20日に行われた、「法人会全国青年の集い茨城大会」に相模原法人会青年部会員総勢17人で参加致しました。

租税教室活動プレゼンテーションの見学を第一とし3時間に渡り11の単位会の発表を拝聴して来ました。一昨年前に比べ、派手なプレゼンテーション等は少なくなり、実直な活動を行っている会が増えたと思います。当青年部会員にも大いに参考になったと考えます。

これは、その日の記念講演 宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 名誉教授 的川泰宣

氏による「はやぶさ」からのメッセージと題した、はやぶさの帰還の裏話です。

小惑星探査機「はやぶさ」の名前は当初案では「アトム」だったそうです。自分で考えて行動する自立型の探査機で鉄腕アトムのイメージからでしたが、海外ではアストロボーイと意識されている為、意味が伝わりにくいという事で、目標に向かって降下し一瞬でサンプルを回収して直ぐ離脱する姿が鳥のはやぶさの動きに似ていると言う事で「はやぶさ」になったそうです。

「はやぶさ」の開発にあたっては、予算が少なかったため、部品も下町の工場などに

依頼して制作していた様ですが、日本の職人さんの凄いは、「自分では作れないが、どここの誰なら作れるよ」などの情報や知識が豊富だったそうです。なるべくコストがかからない様に、日本より探査機を多く生産している海外の部品も使用しています。ですが、最初に壊れた、三軸姿勢制御のリアクションホイール、次に壊れたイオンエンジンの部品などもアメリカ製だったそうです。「たまたまかもしれませんが、日本製の部品は壊れませんでした」と話していました。

イオンエンジン復活は、実はルール違反の意外な事実がありました。4基のイオンエンジン全てが壊れ、「もうダメか」となった時にある提案が出た。しかし、その案が無理な事は、自分達で一から作った皆が知っている事実でした。皆が無理だと思つた中「できる」と言うその人が口にした事は「実は万が一を考えて誰にも言わずに独断でエンジンとエンジンにバイパスを作っていた」のだと。これは、プロジェクトチームの中ではルール違反なのですが、しかしそのお陰で推進力を確保する事が出来、時にルール違反も賞賛を得る事が有ると言うエピソードが紹介されました。

推進力を得て地球への帰路で、通信が途絶えた際の一番の心配はプロジェクトへの予算打ち切りだったそうです。的川さんが



文部科学省へプロジェクト継続のお願いに行くと担当者に「可能性を数値化してくれ」と言われ、直ぐに川口淳一郎氏に電話をして、「はやぶさ」のアンテナが地球に向いている確率を出してもらい、担当者に納得してもらった。でも本当は地球も自転しているから、担当書に告げた確率よりも更に半分以下だった。

帰還できたから、OKを出した役人さんも

“英断だった”と周りから評価されていたので、後日本当の事を伝えても、笑ってくれたそうです。

帰還できた一番の要因は「貧乏だったから」貧乏だったから皆が自分達で苦労して作り上げ、だからこそ、構造も熟知していたし、愛着も強かった。その事がなんとか地球に帰そうと、プロジェクトチームの皆が一体となって諦めずに頑張った。そして結果

に繋がったと。

日本の物作りは世界に誇れる、日本はもっと未来に希望をもって行けると、話しをされて講演を終わりました。

今までに無かった取り組みとして、当日は地元の小学生300人位も招待されていたので、難しい専門用語無しの分かり易く、楽しい講演会でした。

副会長 佐藤 俊太郎

## 新年会 H28年 1/20

相模原駅、Gardenia (イタリアン×エスニック料理)にて新年会を開催致しました。私自身入ったことがないお店でしたので何

度も出向いて、当日のテーブル配置やAV機器の設定などマネージャーと打ち合わせをしていきました。食事も事前に食べてみて



税金クイズで正解した部会員が賞品を物色

とても美味しかったので、当日来ていただけの方々に喜んでいただけたと思っていました。

いざ当日、30名前後の予約でしたが大幅に人数が増えてしまい期待していた食事の方が追

い付かずにお越しいただいた皆様には食事の量が少なくて大変ご迷惑をかけたしまいました。途中の余興として税金クイズなども才川副委員長・菊永副委員長により楽しく行うことが出来ました。

今回企画から携わって見て反省点も見えて、次回の課題として改善点もたくさんありましたので勉強にもなりました。お忙しい最中、お越しいただきましたOBの方々、部会員の皆様には大変感謝しております。他の事業も精度を上げて実行していきますので本年もよろしくお願ひいたします。

交流委員会 委員長 松田桂吾

## 瓦版せいねんぶ 編集部員後記

青年部会員のちょっとしたリフレッシュ法や趣味などを紹介します♪

### ～編集部員・清仁先輩の独り言～

こんにちは！ 青年部編集部員の佐藤です。編集部員のリフレッシュ法や、趣味として前号は、「映画鑑賞」をテーマにお伝えさせていただきました。そして、今回は自動二輪車「バイク」です。

バイク、私の趣味でタイヤが2つの乗り物♪  
 バイク、それは心地よい乗り物  
 バイク、全ての景色を変えて見せてくれる乗り物  
 バイク、仕事で疲れた心を元に戻してくれる乗り物  
 バイク、それは乗り方を間違えれば危ない乗り物

早朝4時、普段の仕事でも起きないこの時間、バイクに被っているカバーを外し、これから起こるであろう出来事は、バイクじゃないと味わえない時間だと想像していると、まるであの時のような気持ちで高揚しているのが分かる。

バイクのエンジンをかけ、ゆっくりと薄暗い町中を走り出す。前日までに

は、ある程度の方向とルートは決めている。今日、富士山をみて伊豆で海鮮をいただく予定♪ 身体を突き抜ける風、全身で感じる空気、バイクでないと観る事の出来ない景色。今日も良い日になりそうだ。

こんな気持ちでバイクに乗っていると日常の仕事疲れもどこかに行ってしまう、また毎日、仕事を頑張れるのが不思議です(笑)。

このように「疲れも吹っ飛んでしまうような趣味」を見つけられれば幸せですね。そんなバイクは、とても危険で自分勝手に運転している人がいるのも、また事実です。

これからの季節は気候も良く、車もバイクもツーリングに最高のシーズンになります。是非、皆様も安全運転で気持ちを大らかにお願いします！ (^-^)

公益・広報委員会 副委員長  
 佐藤 清仁

